

第4回国土交通省直轄事業の建設生産システムにおける 発注者責任に関する懇談会〈議事概要〉

【日時】 平成18年9月29日(金) 13:00～14:15

【場所】 虎ノ門パストラル 新館4F ミント

【議論のポイント】

今後の施策の進め方(ロードマップ)について

結果から施工プロセスの評価に転換するための仕組みづくりを優先すべき。そのためのツールとして、グローバルスタンダードになっている出来高部分払方式が適しているのではないか。プロセス評価のあり方と出来高部分払方式の活用は、並行して検討すべきである。

詳細設計で不透明な問題が起きており、設計業務のフィーの構造を変えていく必要がある。

設計の信頼度をいかに高めるか。受注者自らが行う照査制度に限界があることは明確であり、これに代わる仕組みが必要である。

「中長期課題として検討」という表現では問題の先送りと誤解されるため、「当面、事例やデータを収集・分析し、検討」とする。

専門部会の設置について

個別のテーマについては専門部会で検討を行い、その結果を懇談会で報告してほしい。

専門部会の設置の了解が得られたため、今後、各部会で検討を進める。「企業評価部会」及び「設計・施工プロセス部会」を年内に先行して立ち上げ、その成果をも踏まえ、年明けに「品質確保部会」を立ち上げたい。

その他

今後の懇談会、専門部会については、原則公開とし、必要に応じて委員長の判断で非公開とできるように規約を改正する。